

お子さまの体調について

登園を控えるのが望ましい場合（及び早お迎えのをお願いする基準）	
① 発熱	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平熱+1℃以上の発熱 及び、下記②の症状のいずれかが当てはまる場合 ・ 24時間以内に38℃以上の熱があった ※お子さんの平熱を知ることが大切です。体温の数値(38℃)はあくまでも目安です。 ・ 24時間以内に解熱剤を使って解熱した（薬の効果がなくなると再び発熱します） ・ 前日発熱があり、朝や登園時の体温が普段に比べて少し高めだった <p>（体温は朝になると一時的にさがり、活動し始めると上昇傾向となります。 38℃はなくても、普段の平熱より高めの場合には、登園しても早迎えをお願いする可能性が高いです。すぐに連絡が取れ、お迎えにも来られる体制を整えておいてください。）</p>
② 体調不良の指標となる状態	<p>発熱だけでなく、下記症状も含めてご検討ください</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機嫌が悪い：お子さんの体調が悪いときの指標となります ・ 食欲がない：登園しても飲食ができないと脱水となり、体調が悪化しやすいです ・ 活気がない：動きが緩慢で、目の焦点が合いづらい等の状態です ・ 顔色が悪い：体調不良、気分不快により、顔色がいつもと違う状態です
③ 咳・鼻水	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間咳が続き、睡眠がとれていない ・ 咳込みがひどく、呼吸がつかう ・ 鼻水の量が多い
④ 排泄・下痢	<ul style="list-style-type: none"> ・ 24時間以内に水様性の下痢が見られた ・ 食事ごとに下痢になり、トイレの回数が頻回 <p>この場合は登園できません ※感染症の可能性が高いです</p>
⑤ 嘔吐	<ul style="list-style-type: none"> ・ 24時間以内に嘔吐が見られた→ この場合は登園できません ・ 吐き気があり、いつもより体温が高い ※感染症の可能性が高いです
⑥ 発疹 ※【 】内は可能性のある病気	<ul style="list-style-type: none"> ・ 風邪症状を伴う発熱後一旦熱が下がり再度発熱し、赤い発疹が出た【麻疹】 ・ 微熱程度の後、手のひら・足の裏・口の中に水疱が出た【手足口病】 ・ 38℃以上の高熱が3~4日続き、解熱後赤い発疹が出た【突発性発疹】 ・ 発熱と同時に発疹が出た【風しん、溶連菌感染症】 ・ 微熱と同時に両頬にりんごのような紅斑が出た【伝染性紅斑（りんご病）】 ・ 水疱状の発疹がでた（発熱やかゆみは個人差あり）【水痘（みずぼうそう）】 ・ 「とびひ」について 場所が顔などで患部が覆えない 患部をひっかいてしまう じくじくしている（他のお子さんへの感染の恐れがあります）
⑦ 目の充血	<p>感染性かどうかの区別が付きにくい症状なので、登園前の受診にご協力ください。</p> <p>（目の充血を伴う感染症は、非常に感染力が強くて後遺症としても視力に影響を及ぼす場合もありますので、お気をつけ下さい。）</p>

②も合わせて観てください

⑤も合わせて観てください

また、保育園内には体調の悪いお子さんがゆっくりとお休みできるような、病児保育を行える環境は整っておりません。発熱によりお子さんの体力や気力が奪われ、お子さん自身が辛い思いをします。お子さん本人のためはもちろん、他のお子さんへの感染を防ぐためにも上記の症状が見られる場合は、**ご家庭での療養、病児保育のご利用、お迎えの調整** 等をご検討くださいますよう、お願いいたします。